



# 防災・減災について考えよう

## 家族で防災に取り組もう！

地震や水害などの自然災害は、いつ発生してもおかしくありません。

いざというときの行動、避難場所や避難方法、連絡方法など家族でよく話し合っておきましょう。また、日頃からできる対策や、非常時持ち出し品の準備など、事前対策も行いましょう。



## 地域ぐるみで防災に取り組もう！

大規模な災害が発生したとき、交通網の寸断や多発する火災などにより、消防や警察などの公共機関が十分に対応できない可能性があります。このような場合は、隣近所の地域の皆さんがお互いに助け合って、被害を軽減させることが重要になります。積極的に自主防災組織に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。また、高齢者や子ども、妊婦、障がい者、傷病者、外国人などの災害時に手助けが必要な人（災害時要援護者）を災害から守るために、地域で協力しあいながら支援していきましょう。

### 高齢者・乳幼児など



複数の人で対応し、急を要するときは、ひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難させてください。  
また、乳幼児は手をつなぐなど、しっかり保護しましょう。

### 肢体の不自由な人



車椅子を使用する場合は、階段では、必ず3人で協力し、上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮してください。

### 目の不自由な人



「手伝いましょうか」など、まず声をかけてください。  
誘導するときは、杖を持っていない方の腕のひじあたりを軽く触れるか、腕を貸して半歩前くらいを歩いてください。

### 耳の不自由な人



話をするときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしてください。  
口頭で分からないようであれば、紙とペンなどを使って筆談してください。

## 自主防災組織とは

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という考えに基づいて、災害時に隣近所の人々と力を合わせて自主的に防災活動を行う組織です。

### 平常時の活動（一例）

- 集合場所や避難経路の確認
- 消火用水の確保や消火器の点検
- 応急医療品や資機材の準備
- 正しい防災知識の普及
- 防災マップなどを作成し、防災意識を高める
- 食料や飲料水などの備蓄の呼びかけ



### 災害発生時の活動（一例）

- 出火防止及び初期消火活動
- 避難情報の伝達
- 災害時要援護者などの避難誘導
- 避難場所などでの秩序の維持
- 負傷者の把握
- 救出活動と応急手当
- 災害情報の伝達
- 被害状況の把握
- 炊き出しなどによる食料の提供



## 自主防災組織を作りましょう

大和郡山市では、自主防災組織結成の推進を図っています。

災害から自分や家族を守り、地域で互いに助けあうために自主防災組織を結成しましょう。

自主防災組織の結成方法等は、市民安全課にご相談ください。